

# 令和4年度社会福祉法人えぼっく事業報告書

## 1 はじめに

令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症への対応や、活動制限等で通常の活動や個々のニーズに応じた支援は十分に実施できたとは言い難い状況でした。

また、令和3年度に実施した、ほこしあの大規模改修により令和3年12月に移転した法人本部や夜間職員配置のあるグループホームが、本格的に稼働をはじめた年度でもありました。

法人が事業開始して17年が経過し、4年度からの2か年については、次のステップのための土台をしっかりと構築していく時期として、人材の育成と、経営・財政の安定的基盤の確立に取り組みました。懸案事項であった事業規模拡大に伴う、連絡体制や管理体制の様々な課題の整理には、本部事務局と各事業所が一体となり改善に努めました。また、主任や中堅職員にも、いっそうの主体的な行動を求め、理念を意識しながら支援の質の向上、事業運営に関わる体制作りを行うため、各委員会活動を活発化しました。

多様な働き方ができる職場づくりや、今働く職員のさらなる資質の向上を進めながら、新たな人材確保については、学生の新卒者、中途採用者、外国からの人材の確保等をマイナビやSNS等も活用しながら多方向から取り組みました。外国人人材については、コロナ禍で令和3年度に入国できなかった技能実習生が入国し各事業所に配属されました。また国内別業種からの転職者も採用し、令和4年度末には計14名となりました。

以下、各事業について報告します。

## 2 地域生活支援センター（ともっと・あざれあ・てとる）

### 2-1 ともっと

#### <共同生活援助>

- ・令和4年3月よりグループホームきらっとの女性ご利用者入居開始、7月より男性ご利用者入居開始、令和5年3月31日時点で女性は5名利用で定員充足、男性は4名利用で2室空きとなっている。
- ・宿泊を伴う旅行を2件実施した（①7月13日（水）～16日（土）沖縄県11名（ご利用者4名）、②令和5年3月14日（火）～17日（金）沖縄県12名（ご利用者4名））。
- ・新型コロナウイルス感染状況として令和4年5月ご利用者1名が感染、9月にご利用者1名が感染、10月にご利用者7名と職員2名が感染、11月にご利用者4名が感染し、1年を通じて余暇外出や町内会活動などの様々な活動を制限する状況が続いた。
- ・大雪に備え、南幌地区（あっと・もっと）に除雪サービスを外部委託、ソレイユに落雪ガードの設置、北広島市共栄エリアに除雪機を導入した。
- ・札幌養護学校白桜高等学園、夕張高等養護学校、美唄養護学校、平取養護学校と令和5年度以降の卒業生の進路について情報交換した。
- ・地震、洪水など自然災害や夜間帯を想定した避難訓練を実施し、ホーム内の避難経路の確

認、避難所へ実際に避難し経路を確認するなど、防災に対する意識を高めた。また、職員は通報訓練や消火訓練を行い、緊急時の対応が確実に取れるよう訓練した。

<令和4年度の入居・退去及び入居状況>

- ・新規入居 9名 退去 0名 令和5年3月31日現在利用者数51名（定員53名）

## 2-2 あざれあ

<特定相談支援・障がい児相談支援>

- ・登録者は75名で、計画作成のべ62名、モニタリング作成のべ118名となっている。
- ・令和5年1月25日北広島市による実地指導を受ける。文書指導は無し。口頭により記録の不足について指摘が有り、改善をしている。
- ・主な対象は、北広島市内の障がい児者とえぼっくご利用者で、法人内各事業所との連携や北広島市内の他事業所との連携を図るよう努めた。
- ・モニタリング時期や必要に応じてケア会議、サービス調整会議等を開催し、ご利用者の現状把握、支援の方向性について確認し、また各関係機関との連携もより強化できた。

## 2-3 てとる

<居宅介護・重度訪問介護・行動援護・移動支援>

- ・通所ご利用者、グループホームご利用者などの余暇支援を近隣の感染状況などを勘案して外出先を選定し、感染予防策を講じながら継続的に実施した。
- ・在宅のご利用者へ居宅介護サービスを提供し、調理、洗濯及び掃除等を実施した。
- ・通学支援を継続的に実施した。
- ・身体介護、通院介助などの支援についても継続的に医療機関への通院を実施し、健康状態の確認をして家庭やグループホームと連携した。

# 3 ホホエム

## 3-1 ホホエム

<生活介護・就労継続支援B型>

- ・ホホエム内の活動室を使い、個々の障がいの特性や作業内容に応じで個別のブース（10カ所）を設置し、シュレッター、お面作り、手芸、小物作り、紙すき、ワークなど個別支援計画に沿った活動の提供を行った。
- ・ご利用者2名について、作業内容や作業変更、次の取り組みが視覚的に確認することができるボードを作成し、自身で作業スケジュールを確認しながら、取り組める環境を整えた。
- ・日中活動の中で、ご利用者が書いた絵や小物作品を写真に収め、令和5年えぼっくのカレンダーのイラストとして活用し制作・販売を行った。
- ・喫茶れざみを利用されている、北広島自動車学校に対して、日中活動で作品作りを行っているアイロンビーズを使用して、北広島自動車学校のエンブレムを制作。ご利用者2名と一緒に北広島自動車学校へ行き寄贈した。

- ・ご家族やご本人より、通所中に入浴希望があり、入浴が実施できるよう調整を行い実施した。
- ・夏場の家庭菜園規模の農耕やプランターを活用した花栽培植物栽培や、公園や敷地内の散歩をするなど、外での活動時間を設け、運動不足の解消を行った。
- ・令和5年1月20日（金）に、ホホエム内のスペースを利用して、ご利用者と一緒に装飾などを行い、ささやかではあるが成人を祝う会を開催した。
- ・活動スペースに、パーテーションや棚などを使い、作業空間を分けるなど作業環境の見直しを図ったが、活動内容まで着手できず、作業内容に変化が見られていない。
- ・令和5年1月に、喫茶れぞみのリニューアルオープンを行った。店内装飾やテーブルなどの配置換えを行い、より開放的な空間作りを行った。また、食事で使用する食器も限定し、ご利用者自身で食器の準備ができる体制を整えた。
- ・物価高騰の煽りをうけ、れぞみのメニュー価格の改定や仕入れ先などの見直しを図った。食材の種類を抑え、同一食材で別のメニューを作るなど、食材品数を少なくし、各食材の使用頻度を上げた。
- ・喫茶れぞみでは、開店前の時間を使い、挨拶の練習などに取り組んだ。積極的に行いオーダー取りや食事を運ぶなどの接客業務、スープ・ドリンク・サラダ作りなどの調理業務、店内清掃を行い、職員はご利用者の補助を行った。

#### <余暇活動等>

日時	内容	実施場所
令和4年4月26日（火）	こいのぼり・アクリルスタンド作り	ホホエム
5月24日（火）	ハーバリウム作り	ホホエム
6月28日（火）	北広島ボールパーク見学	北広島市内
7月26日（火）	水遊び	ホホエム
8月16日（火）	風鈴作り	ホホエム
9月20日（火）	レジンキーホルダー作り	ホホエム
10月18日（火）	ハロウィンパーティー	ホホエム
11月23日（水）	スノードーム	ホホエム
12月20日（火）	クリスマスツリー作り	ホホエム
令和5年2月17日（金）	雪遊び	ホホエム

#### 3-2 短期入所

- ・通所ご利用者や北広島市近郊のご利用希望がある方に対応した。
- ・コロナ禍ではあったが、北広島市近郊の緊急対応にもできるだけ対応した。
- ・令和3年度利用者延べ人数 823名 令和4年度利用者延べ人数 847名

#### 3-3 日中一時支援

- ・北広島市内のご利用者の入浴サービスなどを継続して実施した。
- ・生活介護ご利用者向けに生活介護開始前・終了後に一時支援を実施した。
- ・コロナ禍であり、新規受入れは感染対策上実施できていない。また、日中一時ご利用者がグループホームへの入居が決まり、利用件数は減少したが、北広島市近況の緊急対応にはできるだけ対応した。
- ・令和3年度利用者延べ人数 79名 令和4年度利用延べ人数 85名

### 3-4 認定就労訓練事業（法人独自事業として、ホホエムで実施）

- ・令和4年度は実施なし

#### <4年度の新規利用及び契約終了状況>

- ・新規1名 契約終了者 1名 令和5年3月31日現在  
生活介護定員 30名 利用者数 38名  
就労継続支援B型定員10名 利用者数 6名 合計 44名

## 4 ハニカム

### 4-1

#### <生活介護>

- ・日中活動として牛乳パックを活用し紙すき作業を行いハガキ、封筒、メモ帳など漉いた紙を使った商品を作成した。ミキサー掛けは、主にラミネート剥がし、柔らかく煮た牛乳パックをちぎる作業活動等をメインに提供を行った。水苔計量作業、ペットボトル分別、リングプル計量等は冬の間は回収や粉碎が難しかったので夏に行った。
- ・利用者の活動空間は二階の整備を行い、個室の空間を活用し、個別の作業活動を提供できた。一階の活動空間の整備は次年度に持ち越しとなった。ホワイトボードを活用し一日の作業量を視覚でわかりやすく提示を行う予定であったが毎日の提示することは困難だった。
- ・施設外での活動は、近郊の体育館の活用は難しかったが利用者の健康維持、体力維持を行うため日中の活動に町内散歩を取り入れ、体を動かす活動を多く行った。
- ・令和5年1月16日（月）に成人を迎えるご利用者をご家族も呼んでハニカム内で成人を祝う会を開催した。

#### <余暇活動等>

日時	内容	実施場所
令和4年4月28日（木）	お花見	南幌神社
5月18日（水）	手作りボーリング大会	ハニカム
6月22日（水）	マグネット室内釣り大会	ハニカム
7月21日（木）	スイカ割り・水遊び	ハニカム

8月25日(木)	うちわ・ペンライト作り	ハニカム
9月15日(木)	秋の紅葉飾り付け	ハニカム
10月12日(水)	ハロウィンパーティー	ハニカム
11月18日(金)	マスクケース作り	ハニカム
12月23日(金)	忘年会(熊手作り・ゲーム)	ハニカム
令和5年2月23日(木)	手作り魚釣り	ハニカム

#### 4-2 日中一時支援

- ・通所利用者以外の利用は行わなかったが生活介護終了後の日中一時支援は可能な限り行った。
- ・令和4年度利用者延べ人数 72名

#### 4-3 認定就労訓練事業(法人独自事業として、ハニカムで実施)

- ・令和4年度は実施なし

### 5 グループホームほこしあ

#### 5-1

##### <認知症対応型共同生活介護>

- ・認知症の基本的な理解として職員会議で、個別の認知症ケアについて議論し対応を検討した。説得よりもまずは安心感を基本に、職員全体で統一したケアを実践した。
- ・自立支援の取り組みとして、本人の保持している能力を最大限に活かせるよう、時間が無いからと職員都合で手をかけすぎることのないよう、選択の自由を尊重し、自身で行う意思を奪わないような働きかけを意識しケアに取り組んだ。
- ・心身の状態を穏やかに保てる暮らしを提供するため、カンファレンスにおいて、ご入居者一人一人の思いや願いは何か検討し、ケアの方向性を定め、ケアプランに反映した。
- ・運営推進会議の取り組みとして、令和4年度もコロナ感染拡大が続いたため、書面報告での実施となった。
- ・身体拘束ゼロに向けた取り組みとして、スピーチロックに特化した研修と振り返りを繰り返し実施した。事業所としての課題や個々の課題を明確にし、対策を講じた。
- ・ご入居者の健康管理として、バイタルの数値等、ご入居者個々の健康状態を把握し健康維持や予防に努めた。またコロナ感染時には、協力医療機関との連携で手厚いサポートを受け、重症化することなく回復する事ができた。
- ・ご入居者確保の取り組みとして、関係機関へのアナウンス等実施し、新規入居へ繋がったが、ご入居者の高齢化も進み、90代のご入居者や新規入居の方の持病悪化等で、相次いでお亡くなりになり、居室の空き状況が続いている。

<ほこしあの行事>

開催日	催事等内容
令和4年4月19日(火)	誕生日会
7月25日(月)	誕生日会
8月6日(土)	ほこしあ夏祭り・七夕祭り
9月19日(月)	敬老会
9月28日(水)	誕生日会
10月12日(水)	誕生日会
11月28日(月)	誕生日会
12月24日(土)	年末お楽しみ会
令和5年1月1日(日)	新年を祝う会
1月9日(月)	誕生日会
2月3日(金)	節分・鍋パーティー
2月24日(金)	誕生日会
3月26日(日)	誕生日会

<4年度の入居・退去及び入居状況>

- ・新規入居 4名 退去 6名 3月31日現在入居者数14名(平均年齢 86.7才)

5-2 認定就労訓練事業(法人独自事業として、ほこしあで実施)

- ・令和4年度は実施なし

## 6 八丁平共生型センターはっち

### 6-1 ろぐらん

<生活介護>

- ・株式会社シーぼーと代表取締役松本氏を講師に迎えて、身体介護研修を行ってきた。室蘭に来ることができない時には、zoomでの研修開催に変更し、現状行っているご利用者への支援や介護の課題を動画などで撮影し、具体的な課題を講師に伝えることで、研修の中でアドバイスをもらい、改善できるようになってきた。
- ・医療的ケアを必要としているご利用者4名に対しては、看護師1名、3号研修修了者3名で行った。コロナ禍で感染対策に一層に注意を払いながら医療的ケアを実施した。
- ・散歩やドライブに出かけたが、近隣での行事等も自粛している場合が多く、イベントや行事は行うことができなかった。

### 6-2 らんらん 居宅介護・重度訪問介護

- ・ろぐらんと合わせて身体介護研修を受講した。そのほかの支援上の課題も職員会議の場や適宜話し合いを行い対応し、解決に努めた。

- ・ご利用者の意向をできるだけ反映できるように現状を再検討し、利用回数を増やしたいというニーズに、相談支援機関と話し合いを行い、室蘭市へ利用回数を増やせるようアプローチ等もを行っている。利用を増やしたい希望に沿う形で、シフトの調整を行い希望に沿う様に対応した。

## 7 きたひろしま暮らしサポートセンターぽると(北広島市委託事業)

### 7-1 生活困窮者自立相談支援

(自立相談支援事業)

- ・新規相談件数は137件で、継続支援件数は654件、終結件数は121件。
- ・支援プラン作成は54件、就労者数は22名、増収者数は10名。支援件数は面談1,170件、訪問646件、同行支援215件、関係機関との連携は2,172件となっている。
- ・相談内容件数(重複あり)は、家計に関する支援が3,878件、就労に関する支援1,461件、福祉制度に関する支援が1,622件となっている。
- ・新型コロナに関する制度(特例貸付・自立支援金)の受付が終了し、制度利用者の事後対応が継続している。

(ひきこもり相談)

- ・令和4年度も個別相談対応をメインに行った。土曜相談にひきこもりに特化した時間帯を設け、ライン受付のシステムを取り入れ、市の広報誌に掲載した。
- ・令和4年度のひきこもり新規受付数は5名。初回相談受付方法は、来所1名、電話2名、メール1名、ライン1名だった。そのうち当事者からの相談は2件、家族からの相談(母、妹)は3件だった。
- ・新規相談者のうち、就労準備支援事業につながった方が1名、家族と定期的な連絡をとっている方が3名、就労準備支援の提案をした方が1名となっている。

### 7-2 家計改善支援事業

- ・家計に課題を抱える相談者の相談に応じ、家計収支状況が見える化し、相談者の対処意欲を引き出せるよう支援を行った。
- ・相談者実人数40名、家計改善支援プラン作成件数44件。
- ・支援内容件数は、家計管理に関する支援は607件、滞納解消・制度利用に関する支援は1,106件、債務整理に関する支援は134件、貸付に関する支援は27件、その他の支援(家族間調整、食料支援など)は415件だった。
- ・プラン作成者のうち、家計管理への意欲の増大者が6名、収支バランスの改善者が12名、債務の減少者が4名、滞納の減少者が7名、その他(家族間調整や増収など)9名。

### 7-3 就労準備支援事業

- ・お仕事探しに課題を抱える相談者の相談に応じ、ひとりひとりの状況や目標に合わせた就労準備支援プログラムを作成し、個別支援を行った。
- ・日常生活自立支援 居場所活動30回実施、実利用人数12名(そのうち体験利用者5名)のべ利用人数75名。

- ・社会的自立支援(ボランティア活動) 毎週水曜日実施、実利用人数6名(体験利用者2名)
- ・就労自立支援(求人検索・履歴書・面接対策) 5回実施、実利用人数4名
- ・就労が決まった方が3名、就労意欲が増大した方が5名、求職活動を開始できた方が4名、家族以外と接する機会が増加した方が4名となった。

#### 7-4 学習支援事業

- ・毎週火曜日 17:00~19:00 に中学生を対象に数学と英語の学習の機会を提供した。長期休み期間(夏休み・冬休み)には自習室を10:00~12:00に開催した。(開講数は火曜開講49回、夏休み9回、冬休み10回。)その他、土曜自習室、春休み自習室も実施した。
- ・生徒は29名の登録があり年間の延べ参加人数は406名(火曜開講306名、土曜自習室47名、夏休み自習室18名、冬休み自習室30名、春休み自習室5名)が参加した。
- ・支援員はコーディネーター1名(教員0名)、学習支援員は14名(大学生ボランティア)の登録があり、延べ参加人数は322名(火曜開講203名、土曜自習室84名、夏休み自習室18名、冬休み自習室14名、春休み自習室3名)で学習支援を実施した。
- ・オンライン学習の延べ参加人数は46名(火曜開講33名、土曜自習室7名、夏休み自習室0名、冬休み自習室6名、春休み自習室0名)がzoomを使用して参加した。
- ・長期休みの期間には特別学習やイベント企画を行った。イベント企画として8月10日(水)にはお楽しみ会を開催した。またかつて学習支援事業を利用していた方にも声を掛け、OB・OGとの交流イベントを11月26日(土)に開催した。

#### 7-5 一時生活支援事業

- ・住居のない方を対象に、一定期間に限り食住を提供しながら自立にむけて支援のスペースとして引き続き、きらっとの一室を確保した。
- ・相談件数は3件。市営住宅強制退去命令が出た方1名については、ご高齢のため包括支援センターの対応で入居先を確保できた。家族と関係悪化で家を追い出されそうになった方1名・支援センターみらいからの相談1名については、住む家がある状況の中での相談だったため、実際の利用には至らなかった。

#### 7-6 無料職業紹介所えぼっく

- ・仕事を探している相談者と企業との間に入り、相談者には求人情報を、企業には求職者の情報を提供した。無料職業紹介を希望した相談者は3名、その方に対し5つの企業から求人情報を収集し提供。そのうち1名が採用された。
- ・5つの求人情報の内訳は、物流関係2社、環境整備2社、郵便局だった。

## 8 札幌市障がい者相談関連委託事業

### 8-1 札幌市障がい者相談支援・一般相談支援・特定相談支援・障害児相談支援事業

- ・委託相談については、新規登録者は119件。終結ケースが、58件。終結ケースを除いた登録者数は、484件。(うち、計画相談支援184件、障害児相談11件)

- ・コロナ禍であっても、感染対策を行った上で、必要性に応じて訪問を実施した。年間 1586 件の実績を上げ、市内 19 事業所で最も多い対応となっている。
- ・計画相談の新規契約数は、39 件。区内に指定相談支援事業所が少ないため、区役所や直接相談者から計画作成の依頼が入ることが多い状況であった。委託相談で対応すべきケースを見極めながら、指定に引き継げる場合は、引継ぎを行い、9 ケースを引き継いでいるが、計画作成数は、年々増加傾向となっている。
- ・新規で相談を受け付けた件数は、ご本人・ご家族からの相談は、149 件。(前年 129 件) 関係機関からの相談は 121 件 (前年 108 件)。中でも 8050 の課題を抱えたケースが増加傾向となっており、地域支援員を中心として、他の関係機関との連携を要するケースも増えている状況である。
- ・厚別区地域部会においては、オンラインを活用した、毎月の幹事会の開催運営、地域部会の開催を実施。
- ・相談支援専門員が 3 月で 1 名退職となり、対応できる職員の確保が必要となっている。新卒採用者については、相談支援専門員の研修が受講できるまで、経験を積む必要があるため、今後の人材育成に力を入れていく必要がある。

#### 8-2 地域ぬくもりサポート事業

- ・コロナ禍で利用の問い合わせが少なくなり、チラシ配布を検討していたが、緊急事態宣言が明けてから利用者・サポーターともに問い合わせが多くなったため、チラシ配布は実施していない。
- ・これまでコロナ禍で実施できていなかった、イオンのイベントによる周知活動を再開することができた。
- ・担当エリア(厚別・白石・東)の登録サポーターだけではなく、他のエリアを担当している法人と連携し、利用につながるケースが少しずつ増えている。
- ・利用期間が空いた方については、再度自宅を訪問し、利用者・自宅の状況などを確認するようにした。以前開催していたサポーター向け研修はコロナ禍のため、開催していないが、利用者、サポーターが不安に思わないように丁寧な対応を心掛けている。

#### 8-3 札幌市夜間休日虐待通報等受付、緊急受入先調整、一時保護業務

- ・夜間、休日等の電話受付職員を配置し、通報者からの電話について対応することができた。令和 4 年度の対応件数が前年度を大幅に上回る件数となっている。
- ・受付時の対応について、5 月に内部で研修を開催し、対応についての技術向上と職員間で情報の共有を図っている。
- ・虐待による緊急対応は必要としないが、区役所への報告が必要なケースが急増しており、委託元である市とも協議しながら、電話の対応の仕方について引き続き職員間で情報共有を図りながら対応をしていく。
- ・今年度、緊急一時保護ケースがなく、実際に法人内の短期入所を利用したケースはなかったが、保護先が見つからない場合も含めて、法人内の短期入所施設に応援を依頼することが見込まれるため、連携を図っていく必要がある。

#### 8-4 被虐待障がい者の地域生活支援調査研究事業

- ・札幌こころのセンターからの受託。長期間にわたり監禁・虐待を受けた後、精神科病院での入院を経て、地域生活を送る被虐待障がい者の回復に向けたアプローチ方法についての調査研究事業を実施した。
- ・事業実施にあたっては、地域支援を実践している他法人とも連携しながら取り組んだ。

## 9 法人独自公益事業

### 9-1 住宅確保要配慮者への居住支援（居住支援業務事業所えぼっく）

- ・令和4年度住宅市場整備推進等事業費補助金（令和4年度 4,077,368 円の補助金を受領）を活用し、居住支援活動に取り組んだ。ぼるとやますとびいーと連携を図りながら相談を行い、年間相談案件数は142件、そのうち入居前支援（住居情報提供、住居探しなど）は51件実施、入居中支援（日常生活サポート）は91件実施となっている。また入居相談解決（住居の契約手続きサポートにより、賃貸契約の締結）は令和4年度3件となった。
- ・北広島市内で日常生活サポート対象者の情報を早期に把握できるように、生活困窮者相談支援事業所きたひろしま暮らしサポートセンターぼると及び関連機関との連携を積極的に行い、早期に相談者の課題改善に向けた支援ができるように互いの事業の特徴を生かした協力体制の強化を進め必要な支援を行った。
- ・関係機関との定期的な勉強会、情報交換会を開催し生活弱者の方々の日常生活での困りごとを気軽に相談できる関係性を築けるよう、支援対象者の制限を作らない居場所作りについては取り組むことができず未実施となった。
- ・北広島市内の多くの市民に居住支援法人制度及びその役割を理解、利用を推進する事を目的としてセミナーを開催した。

#### <セミナーについて>

開催日時：令和4年9月9日（金）14：00～16：30

会 場：北広島市芸術文化ホール（活動室1・2）

セミナー内容：

1. 居住支援法人について知る「住宅確保用配慮者居住支援法人について」  
講師 北海道建設部住宅局 建築指導課 普及推進係 柳詰 周 氏
2. 居住支援法人の役割について考える「民間賃貸住宅で安心して暮らし続けるために必要なことについて考える」  
講師 早稲田大学人間科学学術院 准教授 古山 周太郎 氏
3. 意見交換

参加者 27名

### 9-2 フードバンクぼすこ

- ・令和4年度は7月のフードドライブ開催を皮切りに奇数月で年間5回実施した。法人本部ときたひろしま暮らしサポートセンターぼるとを会場に、集荷できた食料品を年末に

は市内の困窮世帯 50 世帯に特別配荷を行うことができた。

- ・北広島農協青年部の会員による家庭菜園で食料支援の為に育てた農産品の寄贈を 2 回、サッポロドラックストアからの食料品日用品の配荷が令和 5 年 3 月から開始するなど、北広島市内での取り組みが評価されている。
- ・令和 4 年 9 月 17 日（土）にはフードバンクぼすこ応援隊を結成しボランティア 4 名で地域食堂を法人本部で開催し、ぼるとの学習支援に参加している中学生と支援ボランティア、市民の方が多数訪れ、短い時間であったが交流とカレーライスの提供を行うことができた。
- ・ベトナムフエ市にある LONG THO 寺附属障がい児保護センターへの学用品と絵本を送る活動をフードドライブの中で取り組み、多数の品物集め、寄贈することができた。
- ・ぼるとでの食糧支援は毎週水曜日に継続実施（活動日数年間 52 日）し、延べ 1,768 名の方に食料品を届けた。

### 9-3 青色防犯パトロール

- ・令和 4 年度においても、北広島市東部地区を中心に北広島市全域の青色防犯パトロール活動をおこなった。また、市役所から不審者情報の提供があった場合、特にその地域を重点的にパトロールし、不審者の出没の抑制に努めた。

<令和 4 年度実績>

月 別	実施回数	のべ参加人数	備考（パトロール中に得た情報等）
令和 4 年 4 月	19 回	38 人	特に異常なし
5 月	20 回	40 人	5/10、5/16、5/17、5/25 市より不審者情報の提供あり
6 月	21 回	42 人	6/9 市より不審者情報の提供あり
7 月	19 回	38 人	7/11 市より不審者情報の提供あり
8 月	21 回	42 人	8/22、8/29、8/30 市より不審者情報の提供あり
9 月	20 回	40 人	特に異常なし
10 月	18 回	36 人	特に異常なし
11 月	18 回	36 人	特に異常なし
12 月	16 回	32 人	特に異常なし
令和 5 年 1 月	14 回	28 人	特に異常なし
2 月	20 回	40 人	2/21 市より不審者情報の提供あり
3 月	23 回	46 人	特に異常なし
計	229 回	458 人	

## 10 法人指導監査および、各事業所の実地指導の受検

- ・令和 4 年度法人の指導監査および、グループホームほこしあ、あざれあの実地指導が実施さ

れ法人並びにいずれの事業所において、文書指導はなく、諸官庁の担当職員より運営に関する助言を受けた。

<令和4年度地域密着型サービス事業者等運営指導>

令和4年8月22日 グループホームほこしあにて実施 改善事項なし

<令和4年度社会福祉法人に係る指導監査>

令和4年9月26日 法人本部にて実施 改善事項なし

<北広島市による実地指導（あざれあ）>

令和5年1月25日 法人本部にて実施 改善事項なし

## 11 各事業所の事故対応状況について

- ・令和4年度は服薬事故がグループホームにおいて多く見られた。傾向としては、基本業務を怠ったために発生した事故が多く見られた。
- ・重大なケガにつながる事故は発生していない。

<令和4年度の事故等対応報告集計について>

	ハニカム	ホホエム	ともっと	ほこしあ	はっち	合計
ケガ・転倒	2件	2件	0件	3件	0件	7件
物損	1件	0件	3件	0件	0件	4件
服薬	0件	1件	4件	0件	0件	5件
苦情・その他	0件	0件	0件	0件	0件	0件
ひやりはっと	0件	1件	3件	1件	0件	5件

## 12 各事業所の避難訓練ならびに非常災害に向けた取り組みについて

- ・相談室ますとびいーにおいてはBCP策定し、内容について継続して協議や実際の災害時を想定した訓練を実施した。他事業所は主任会議の中で内容について協議を続け、基本的な内容については整備された。

<各事業所の避難訓練状況>

○ハニカム ～令和4年9月9日（金） 令和5年3月27日（月）

○地域生活支援センター

・あっと ～令和4年9月1日（木） 令和4年12月6日（火）

・もっと ～令和4年8月31日（水） 令和4年12月5日（月）

・ソレイユ～令和4年8月27日（土） 令和4年12月11日（日）

・きらっと～令和4年9月14日（水） 令和5年3月3日（金）

・ともっと～令和5年2月26日（日） 令和5年3月23日（木）

・ともっと2号館

～令和4年8月9日（火） 令和4年12月12日（月）

- ホホエム ～令和4年8月24日(水)・25日(木) 令和5年3月20日(月)
- ほこしあ ～令和4年9月14日(水) 令和5年3月3日(金)
- はっち ～令和5年3月23日(木)

### 13 人権擁護・虐待防止への取り組み

- ・身体拘束ゼロへの取り組みとして、ほこしあでは「身体拘束」に関わる研修を行い、身体拘束を伴わない介護の方法について意見交換しながら職員の理解を深めた。
- ・虐待防止への取組みとして、虐待防止委員会が各事業所の職員会議の場で、虐待防止についてのグループワークも行い、職員が支援に関して日々感じていることを意見交換しながら支援の質向上に努めた。

### 14 新型コロナウイルス感染症への取り組み

<令和4年度の新型コロナウイルス感染症の感染状況>

事業所	陽性者総数	備考
グループホーム ほこしあ	職員9名 ご入居者12名	・5月10日(火)職員1名判明。 ・5月26日(木)までに新たにご入居者12名、職員8名の陽性が判明。
地域生活支援センター	ご入居者1名	・5月25日(水)判明。他ご入居者、職員へ感染広がらず。
法人本部	職員1名	・7月20日(水)判明。感染広がらず。
地域生活支援センター	職員1名	・7月26日(火)判明。感染広がらず。
ぽると	学習支援利用の 学生1名	・7月28日(木)判明。感染広がらず。
八丁平共生型センターはっち	職員2名	・8月12日(金)1名判明。 ・8月17日(水)1名判明。感染広がらず。
地域生活支援センター	ご入居者11名 職員2名	・10月24日(月)判明。 ・11月4日(金)までに新たにご入居者10名、職員2名の陽性が判明。
ホホエム	職員4名 ご利用者3名	・10月28日(金)・29日(土)に職員各1名判明。 ・11月1日(火)ご利用者新たに2名判明。 ・11月4日(金)までに新たにご利用者1名、職員2名が判明。
法人本部	職員1名	・11月3日(木)判明。感染広がらず。
相談室ますとび いー	職員1名	・11月16日(水)判明。感染広がらず。

法人本部	職員 1 名	・ 11 月 18 日（金）判明。感染広がらず。
グループホーム ほこしあ	職員 1 名	・ 11 月 18 日（金）判明。感染広がらず。
八丁平共生型セ ンターはっち	職員 1 名	・ 11 月 22 日（火）判明。感染広がらず。
ホホエム	職員 4 名	・ 12 月 25 日（日）判明。12 月 27 日（火）までに新たに 職員 2 名判明。12 月 28 日（水）感染拡大防止のため、 事業所停止。
小計	ご利用者 27 名 職員 28 名	
合計	55 名	

#### < 補助金の受領 >

- ・ コロナ禍における障害福祉サービス事業、介護保険事業者に対して、感染防止対策支援事業支援金 1,563,000 円、また物価高騰支援対策支援金として 1,620,000 円を受領した。  
(計 3,138,000 円)

## 15 理事会の開催

日時	出席理事 監事	議事・報告事項
令和 4 年 6 月 7 日 (火)	理事 6 名 監事 2 名	議案第 1 号 令和 3 年度事業報告（案）について 議案第 2 号 令和 3 年度収支決算報告書（案）について 議案第 3 号 令和 3 年度社会福祉充実残額の算定について 議案第 4 号 非常勤就業規則の改定について 議案第 5 号 給与規程の改定について 議案第 6 号 令和 4 年度第 1 回定時評議員会の招集について 報告事項 1 令和 3 年度監事監査報告について 報告事項 2 理事長の業務執行状況報告について 報告事項 3 地域生活支援センターともっとの金銭管理規程の改定について
10 月 25 日（火）	理事 5 名 監事 2 名	議案第 1 号 定款変更認可申請について 議案第 2 号 経理規程の改定について 議案第 3 号 評議員選任・解任委員会運営細則の改定について 議案第 4 号 育児介護休業規程の改定について 議案第 5 号 令和 4 年度第 2 回評議員会の招集について

		報告事項1 法人指導監査受検について 報告事項2 理事長の業務執行状況報告について
令和5年1月25日 (水)	理事5名 監事2名	議案第1号 慶弔見舞金規程の改定について 報告事項1 理事長の業務執行状況報告について 報告事項2 前回報告以降の道への事故報告について
3月23日(木)	理事6名 監事2名	議案第1号 令和5年度事業計画(案)について 議案第2号 令和5年度当初予算(案)について 報告事項1 理事長の業務執行状況報告について 報告事項2 前回報告以降の道への事故報告について

## 16 評議員会の開催

日時	出席 評議員	議事・報告事項
令和4年6月24日 (金)	7名	議案第1号 令和3年度事業報告書(案)について 議案第2号 令和3年度収支決算報告書(案)について 議案第3号 令和3年度社会福祉充実残額の算定について 報告事項1 令和3年度監査報告について
11月17日(木)	同意書 7名	議案第1号 定款変更認可申請について 議案第2号 役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の改定について

## 17 監事監査の実施

監査実施日	出席監事	内容
令和4年9月20日(火)	丸山監事	令和4年度第一四半期業務監査
10月4日(火)	上田監事	令和4年度第一四半期会計監査
令和5年2月20日(月)	丸山監事	令和4年度第二四半期業務監査
3月13日(月)	丸山監事	令和4年度第三四半期業務監査
4月4日(火)	上田監事	令和4年度第二四半期、第三四半期会計監査
5月17日(水)	上田監事 丸山監事	令和4年度会計監査 令和4年度業務監査

## 18 第三者委員活動の実施

<委員名簿>

今井 明日香 委員(弁護士)

佐々木 明美 委員 (北海道ハイテクノロジー専門学校 教育顧問)

松岡 是伸 委員 (北星学園大学社会福祉学部 准教授)

開催日	出席者	内容
令和4年7月8日(金)	第三者委員3名 法人職員	令和3年度下期各種事故報告、第三者委員より
12月26日(月)	第三者委員3名 法人職員	令和4年度上期各種事故報告、令和4年度の第三者委員による事業所訪問について

<第三者委員による事業所訪問>

訪問日	訪問先	第三者委員
令和5年2月25日(土)	ソレイユ	今井委員
3月1日(水)	ホホエム	今井委員
3月14日(火)	ほこしあ	佐々木委員
3月20日(月)	ハニカム	松岡委員

## 19 法人内研修の開催

<虐待防止研修>

- ・令和4年8月4日(木) 場所:はっち 参加者11名
- 8月20日(土) 場所:ますとびいー 参加者11名
- 12月13日(火) 場所:ほこしあ 参加者14名
- 12月16日(金) 場所:ともっと 参加者26名
- 令和5年1月31日(火) 場所:はっち 参加者11名
- 3月27日(月) 場所:ハニカム 参加者9名

<安全運転セミナー>

- ・令和4年12月14日(水) 参加者51名 12月15日(木) 参加者41名
- ・後日動画視聴3名

<新採用者研修>

講師 理事長、各事業所管理者、事務局

- ・令和5年3月27日(月)、29日(水) 参加者7名

<管理者向けセクシャルハラスメント研修>

講師 祖母井 里重子 氏 (弁護士)

- ・令和5年3月6日(月) 参加者13名

<身体拘束ゼロに向けたほこしあでの取り組み>

- ・令和4年9月21日(水) ~身体拘束適正化研修 参加者13名
- ・令和5年2月15日(水) ~身体拘束適正化研修 参加者12名

<八丁平共生型センターはっち介護技術研修>

講師 松本 未香 氏 (株式会社しーぼーと代表取締役)

- ・令和4年 4月22日(金) 参加者5名
- 6月3日(金) 参加者10名
- 7月1日(金) 参加者9名
- 8月12日(金) 参加者8名
- 9月9日(金) 参加者9名
- 12月23日(金) 参加者7名
- 令和5年 2月17日(金) 参加者8名
- 3月10日(金) 参加者7名
- 3月18日(土) 参加者7名

<はっちセクシャルハラスメント研修>

講師 祖母井 里重子 氏(弁護士)

- ・令和5年3月28日(火) 参加者15名

<防災研修>

- ・令和4年4月9日(土) 参加者9名
- 10月15日(土) 参加者8名

<計画相談研修>

- ・令和4年7月14日(木) 参加者9名
- 11月10日(木) 参加者10名

<夜間休日虐待通報研修>

- ・令和4年5月14日(土) 参加者7名

<個人情報保護の取扱についての研修>

- ・令和5年2月7日(木) 参加者9名

## 20 各種委員会の開催(別添委員名簿参照)

<感染症対策委員会>

開催日	内容
令和4年4月14日(木)	各所定例報告
5月12日(木)	ほこしあ感染状況報告、協議
5月27日(金)	ほこしあ、ともっと感染状況報告、ユニフォームの取扱について
6月22日(水)	各所定例報告、利用者様・職員向け文書発信
7月20日(水)	事務局感染状況報告、各所定例報告
8月17日(水)	各所定例報告、ガイドラインの改訂について
9月7日(水)	はっち感染状況報告、各所定例報告、文書発信
10月5日(水)	各所定例報告、感染症マニュアルの作成について
11月9日(水)	ともっと・ホホエム・ハニカムの感染状況について
12月14日(水)	各所定例報告、文書発信
令和5年1月18日(水)	ホホエム感染状況報告、各所定例報告、文書発信
2月8日(水)	各所定例報告
3月8日(水)	各所定例報告、今後の感染対策について
3月29日(水)	各所定例報告、文書発信

<えパレット委員会>

開催日	内容
令和4年4月11日(月)	令和3年度振り返り、マナー研修の進め方について
5月9日(月)	マナー研修アンケート集計
6月10日(金)	接遇マニュアル作成について
7月8日(金)	接遇マニュアル作成打合せ
8月12日(金)	接遇マニュアル作成打合せ
10月21日(金)	接遇マニュアル校正、表紙打合せ
11月18日(金)	接遇マニュアル校正、表紙作成、るびうち作業
12月16日(金)	接遇マニュアル最終校正
令和5年1月20日(金)	新メンバー顔合わせ、接遇マニュアル動画作成について
2月10日(金)	接遇マニュアル動画撮影
3月10日(金)	令和4年度振り返り、令和5年度に向けた打合せ

<広報委員会>

開催日	内容
令和4年4月21日(木)	令和4年度の活動について、えむはと通信4月号の確認、カレンダーの準備
6月16日(木)	えむはと通信7月号の確認、カレンダー制作の計画について、Facebook記事について
7月21日(木)	えむはと通信7月の確認、Facebook記事、カレンダーについて
8月25日(木)	カレンダーの作成について、Facebook写真素材について
9月15日(木)	カレンダーの確認について、ほっこり通信、えむはと通信について
10月20日(木)	カレンダーの確認について、ほっこり通信、えむはと通信について
12月15日(木)	えむはと通信について、カレンダーについて
令和5年1月19日(木)	今後の広報委員会について、通信、Facebookについて
2月16日(木)	連絡事項、各事業所より、各種通信について
3月13日(月)	各種通信について、余暇活動、原画等の取扱について

## 21 外部研修への参加

開催日	会議名等	参加者数
令和4年6月11日(土)	実習指導者フォローアップ研修	1名
7月16日(土)・17日(日)	障がいのある人を支援する防災研修会	1名
8月26日(金)・10月26日(水) 27日(木)	主任相談支援専門員研修	1名
8月29日(月)～	相談支援従事者研修(初任者研修)	1名

10月29日(土)		
8月3日(水)	技能実習責任者講習	1名
8月31日(水)	技能実習責任者講習	3名
9月2日(金)	札幌市成年後見人推進センター関係者向け研修会	1名
11月15日(火)・26日(土) 27日(日) 12月19日(月)・20日(火)	相談支援専門員研修	1名
10月18日(火)	高齢者虐待防止研修会(北広島市)	1名
10月21日(金)	令和4年度障がい者虐待防止研修会	1名
12月22日(木)	障がいのある方の居住支援について	1名
令和5年1月19日(木)	北海道ウェビナー地域情報交換会	5名
1月26日(木)	外国人材受入セミナー	1名
2月13日(月)	会計実務者決算・財務分析講座	1名
3月25日(土)	社会福祉施設等における虐待防止の取組推進研修会	2名
3月1日(水)～	介護職員初任者研修	2名

## 22 寄付の受け入れ

受領日	寄付者	物品等	寄付の用途
令和4年7月5日(火)	個人1名	現金 200,000円	法人の活動のため
8月18日(木)	個人1名	電動ベッド、サイドテーブル	法人の活動のため、受領後はっちで活用
9月16日(金)	個人1名	現金 3,000円、 地域食堂にて提供の食材(鶏肉)	フードドライブの活動及び地域食堂の活動のため
9月17日(土)	個人2名	現金 8,488円	フードドライブの活動のため
11月30日(水)	個人1名	現金 30,000円	法人の活動のため
12月12日(月)	個人2名	現金 3,040円	フードドライブの活動のため
12月15日(木)	クラーク自動車	現金 30,000円	法人の活動のため
12月23日(金)	南幌町社会福祉協議会	現金 20,000円	法人の活動のため
12月23日(金)	北海道信用金庫 ひまわり財団	現金 50,000円	法人の活動のため

## 23 ボランティアの受け入れ

令和4年度のボランティアの受け入れについては、ぼるとの食糧支援の仕分けに実人数49名、延べ151名の受け入れを行った。またフードドライブの活動に応援隊として4名のボランティアがフードドライブの活動にて継続的に参加いただいている。他の事業所での受け入れはコロナ禍でイベントの実施もしていないことから受け入れはなかった。

## 24 技能実習並びに特定技能の受け入れ並びに生活支援等

- ・令和3年度予定していたが、コロナ禍で入国できなかった技能実習生が、令和4年7月にグループホームほこしあで2名、12月にホホエムで2名に配属となった。
- ・また、他業種（縫製、農業など）で技能実習を終えて、特定技能として3名（とともと2名、グループホームほこしあ1名）を受け入れている。
- ・技能実習生等への生活支援については継続して行った。
- ・令和5年3月31日現在14名が在籍している。国別ではベトナム13名、インドネシア1名で、男女別では男性2名、女性12名となっている。
- ・在留資格別では技能実習生8名、4年度に3年間の技能実習期間を終了し特定技能（介護）に変更になったものが3名、他業種からの日本国内からの転職による特定技能（介護）が3名となっている。
- ・日本語能力の向上のサポートのために、日本語レベルごとに毎週月曜から木曜日までの夜間及び隔週の土曜日の午前に日本語学習を実施した。
- ・実習生の住まいを確保するため、札幌市厚別区上野幌の住宅と、室蘭においては民間アパートの借上げを継続した。また、ハニカムでは、施設2階に居室を確保している。
- ・海外からの従業員受け入れの継続・安定化を図るため、ベトナム現地での技能実習生・特定技能（介護）外国人候補者の面接、家庭訪問、送り出し機関との打ち合わせを実施した。

## 25 令和4年度えぼっく年間利用実績

- ・別添令和4年度えぼっく年間利用実績参照。